

令和2年度保護者アンケートの結果について

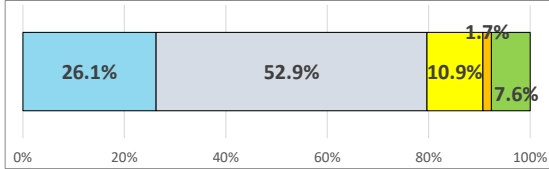
1月に実施しました令和2年度保護者アンケートは、全体の約89%にあたる、87家庭より、119名の児童について回答をいただきました。御協力いただき、本当にありがとうございました。下記のとおり、結果の概要をお知らせします。お寄せいただいた意見については、今後の教育活動に活かしていきたいと思っております。

※グラフの見方

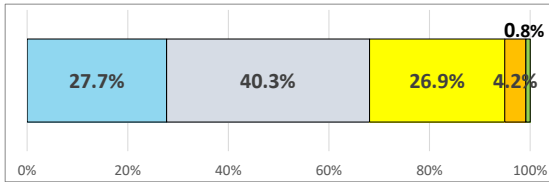
■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■わからない

I 授業や学習習慣に関連する項目

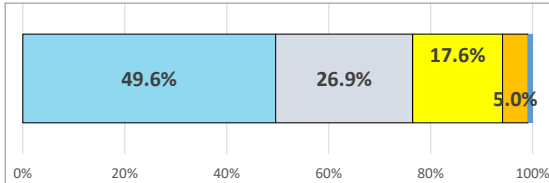
① 子どもは、授業はわかりやすいと言っている。



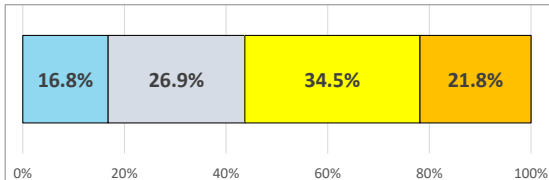
② 子どもは、家庭学習をする習慣が身に付いている。



③ 子どもは、週予定を見て学習用具等の準備をする習慣が身に付いている。



④ 子どもは、家庭でよく読書をしている。



①「分かりやすい授業」は、学力向上と合わせて学習意欲の向上にも影響すると考えます。児童の学習意欲と学力には相関関係があるというデータも出されているところです。今後も学びを育む京丹波町メソッドを基本に学びの環境づくりと授業改善に努めます。

②「家庭学習チェック週間」の取組等、家庭でも声かけいただいておりますが、残念ながら70%に達していません。宿題を中心に学校で行う授業の復習や予習、自主学習等の内容で、家庭でも一定の時間、自分の学習に向き合う姿勢を育てていくために家庭との連携を図っていきたいと考えています。

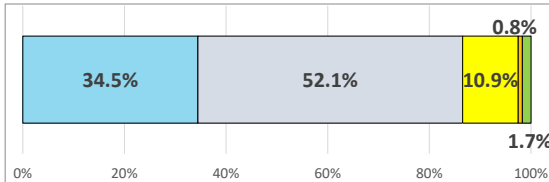
③昨年度は9割以上ができていたという回答でしたが、今年度は全体で7割を下回っています。特に低学年で習慣化できていない回答が多く見られました。一緒に準備をして、授業や友達のことなど学校生活について親子で話題にする機会にしてみてください。

④毎年、肯定的な回答が低く4割に達していなかった項目ですが、今年度は4割を超えました。コロナ禍で町から贈られた図書カードの活用や親子読書の取組等、各家庭でも本への関心が高まった結果ではないかと推察しています。親子で本の読み聞かせ等、これからも家庭で楽しんで本に親しむ時間を大切にしていきたいと思っております。

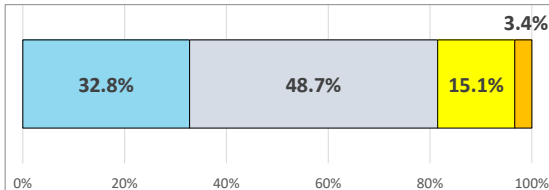
②③④の項目は、よりよい生活に繋がる内容です。その必要性や重要性について児童が理解しながら習慣化できるように、今後も家庭と連携を図りながら取組を進めていきます。

II 規範意識や心の育ちに関する項目

⑤ 子どもは、集団生活や社会のルールを守る規範意識が育っている。



⑥ 子どもは、家族や近所の人、友達に挨拶ができています。

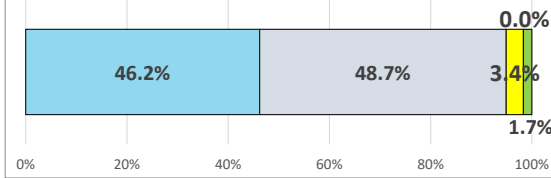


⑤⑥⑦の項目は規範意識や心の育ちに関する内容です。社会生活を送る基本を身に付け、温かい人間関係を築く力が多くの児童に生まれていると感じられるのは嬉しいことです。

⑤家庭、学校、地域と人が集まって生活する中では必ずルールが存在します。1割程度の児童に残念な回答がありました。学校生活のあらゆる場面で機会を捉えて具体的に言葉をかけていきたいと考えています。家庭でも丁寧な言葉かけをお願いします。

⑥8割を超えるよい回答が得られましたが、約2割は残念な回答になっています。「おはよう」「行ってきます」「さようなら」「ただいま」など、家庭、地域、学校、いつでも誰にでも気持ちよく相手の心に届く挨拶ができるよう、これからも引き続き、声をかけていきたいと思っております。

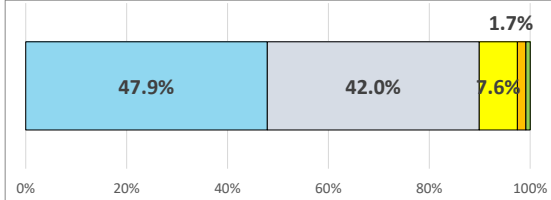
⑦ 子どもは、自分や友達を大事にする態度が育っている。



⑦昨年と同程度の回答でした。コロナ禍での新しい生活様式は新たな意味で自分や友達を大事にする1つの学習機会になりました。身体面、心理面両面で自分や友達を大事にするために、今後も丁寧な指導をしていきます。

Ⅲ 学校生活への満足度に関する項目

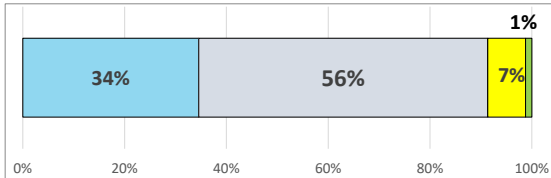
⑧ 子どもは、楽しく学校生活が送れている。



⑧緊急事態宣言発令による2ヶ月間の学校休業を経て6月から本格的に始まった学校生活でしたが、昨年度と同じ約8割が肯定的な回答でした。一方で約1割の保護者が不安や心配な思いで見られている状況については、一人一人が安心して楽しい学校生活を送れるよう連携を図りながら指導を進めたいと考えています。心配なことは、学校まで御連絡ください。

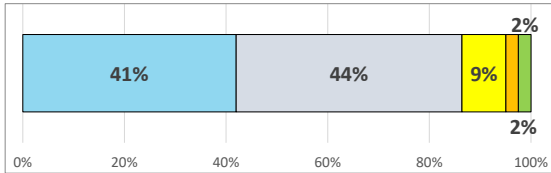
Ⅳ 連携等に関する項目

⑨ 学校は、学校だよりや学級通信などを通して、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。



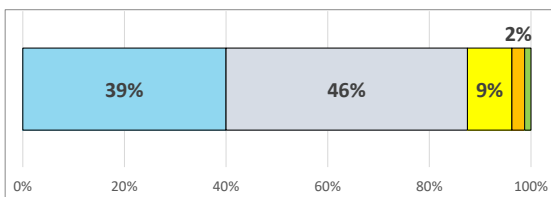
⑨9割が肯定的な回答で、発信の励みになります。さらに伝わりやすい発信方法や内容の工夫などに努めたいと思います。

⑩ 学校は、保護者との連絡をきめ細かく行い、誠実に対応している。



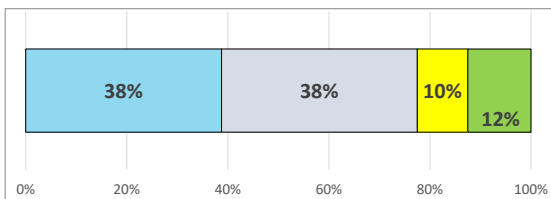
⑩概ね肯定的に受け止めていただいていることに感謝します。一人一人の成長を支援するためにきめ細かい連携を図りたいと考えています。連絡帳や電話、家庭訪問など連絡を取り合う関係づくりを更に大切にしていきます。

⑪ 土曜日の学校行事やPTA行事は、保護者にとって参加しやすい機会となっている。
(参観、運動会、なかよし発表会)



⑪今年度はコロナウイルス感染防止対策により、参観人数の制限や行事の中止などがあったことも影響したのか、昨年度よりも肯定的な回答が減少しました。今年度の取組方を参考にしながら、行事の内容や参観方法など工夫をして、機会提供に努めたいと思います。

⑫ 学校は、地域と連携し、地域の環境や人材を生かした教育活動を進めている。



⑫コロナ禍における教育活動ということで、例年よりも連携の機会が減少したことが、肯定的回答の減少に繋がったと受け止めています。方法を工夫しながら地域の本物に触れる機会の充実と様々な方とのななめの関係作りにも努めます。

【記述より】

・家庭学習をしましょう・・・こういうのはわかりますが、具体的にこういう学習とかいう例があればうれしいです。自己で考え、学習も大事かとももちろん思いますが、それが身に付く学習なのかなどギモンに思う時があります。自身で考えるというのが今の教育なのだろうとも思いますが・・・

・バスでの社会見学や登山などの遠足といった行事がないので、特に登山などの機会があり、小学校生活の中で体験できれば思い出として残ってよいのではないかと思います。子どもに聞くと、今のグリーンランド遠足もみんな遊びがあって、おもしろいらしいです。虫さがしも楽しいらしいです。

・授業時間の問題もあり難しいとは思いますが、昔に比べて校外学習(バス旅行等)の時間が少ないと思います。町内には大きな工場も有りますので、半日見学の機会など有れば、と思います。学習については、家庭学習のやり方そのものを指導していただきたいです。

・参観はほぼ毎月設けられており、行事は土曜開催が多く、参加しやすい機会となっていると思います。

・コロナのこともあり、学校は大変だったと思うが、(そのあたりが)保護者側としては見えにくい部分もありました。もっと実態を伝えていただければ、協力できることがあったのかな、と今になっては思います。

・地域の「先生」を活用した教育をしていただけていると思います。

・瑞穂参観デーは不要だと思う。行ける家庭に限られている。

記述欄には、この他にも御意見をいただきました。分かる喜び、学ぶ楽しさを味わい、児童一人一人が「自分は大切にされている」と感じる学校運営に向け、アンケート結果を真摯に受け止め、指導に活かしてまいります。今後とも連携と御協力をよろしくお願いいたします。